

障がい者福祉施設製造の 「缶詰パン」を災害備蓄食品として 導入することについて

株式会社百五銀行（頭取 杉浦 雅和）は、津市の津波避難ビルに指定されている、岩田本店棟と丸之内本部棟の避難住民用の災害備蓄食品として、障がい者の就労支援を行う社会福祉法人「夢の郷」（津市城山）より、長期保存ができる「缶詰パン」を購入しましたので、お知らせいたします。

岩田本店棟と丸之内本部棟では、津波発生時に各建物への避難住民の受け入れに備え、本件の「缶詰パン」以外にも、食料品と飲料を備蓄しております。

本取組みは、防災備蓄の強化に加え、障がい者の就労支援および地域経済の活性化につなげることを目的としています。

当行では、今後も地域との連携を深めながら、災害に強いまちづくりと共生社会の実現に向けた取組みを推進してまいります。

記

1 目的

- （1）避難住民のための防災備蓄の強化
- （2）障がい者の就労支援および地域経済の活性化

2 災害備蓄食品購入の概要

- （1）購入品：缶詰パン
- （2）購入数：1,000個
- （3）納入業者：社会福祉法人 夢の郷（津市城山町1丁目8-16）
- （4）用途：災害備蓄食品（避難住民用）
- （5）保存期間：4年

3 津市から津波避難ビルとして指定を受けている建物の概要

指定建物	百五銀行岩田本店棟	百五銀行丸之内本部棟
所在地	津市岩田21番27号	津市丸之内31番21号
構造等	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 基礎免震 12階建	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造 中間層免震 12階建
避難使用場所	5階食堂 550㎡（550人収容）	5階食堂 400㎡（400人収容）